



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ほくはよく「戦争は悲惨だ」とか「原爆は恐い」とかといった事
たくさん聞いてきました。しかし実感はわきませんでした。

ほくは、空襲戦が行われた沖縄にも行ったことがあります。そこで、
は戦争の資料館に行ったことがあります。やはり写真を見てその悲惨さ
と実感できました。むしろ、「戦争は産業を発達させる」負けたが日本
は戦争を避けるのだ」「戦争は悪い面ばかりではない」といった意見の方が
説得力があるようにも思いました。

ゆえに、今回、原爆を生々しく伝えてゆえ、実感が持てました。

原爆で死んでいく人の姿が頭に浮かぶおそろしさを感じました。

ほくはひねくれた人間です。「原爆は恐い、戦争は悲惨である」と
いう事に、おなじり賛同する事はありませんでした。「戦争は原爆によって早
く終了」という意見がほくにも納得できました。

しかしおぼろげな人を苦しめながら殺していく「7000度少年」や、
ホーホのいかと、これによってもたえ苦しいながら死んでいく人の事を頭に浮かぶと、
そんなひねくれた自分がおかしいと分り、叱咤された感じがしました。

「戦争は悲惨だ」という言葉が、きれいなことに聞かされてくれた事を
して来たほくが、「戦争は悲惨だ」という意見、納得する事に対して
ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今回の原爆先生の特別授業を受講して
自分が想像していた原爆とのちがいの大きさを
とても衝撃をうけました。私は原爆ドーム
を見たことはありませんが、なんとなく授業を聞いた
りして想像していました。でも今回の原爆先生の
特別授業で教わったことの1割にも満たない
ものでした。私は原爆先生の話を聞いて背中が
ゾッとしました。生々の話からは、人の皮がはがれて
赤い肉が見えらるその光景がとてもよく伝わり
ました。原爆先生も言っていた、地下のトイレで
生き残った人は私も本当に悲きと言ったようがな
いと思ってしまう共感しました。原爆資料館に
行くときは、「本当の被爆者はこんな物ではない」という
ことを頭に入れて、ちゃんと学習した」と思いま。最後
に、私は第2次世界対戦の中ではなく、安全なこ
の平気なう年に生まれてきたことを本当によかた
としか思いません。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

戦争がどんなことが、人は命をうばわれ
て生きているうちは苦を味わって、軍人は助けた
いと思っていなくてもどうにもならない。ただ人をつ
んでいいるのは痛みと悪臭だけ。一つの爆弾で
広島や長崎などの所が火でつつまれ「助けて
助けて...」と助けて、悲しい声が聞こえてくる。当時
では、アメリカと日本の人は相手を倒していけば
良いと考えている。現在では色々な平和式典や
さまざまな学校でやっていたり、行事があ、た
りする。昔の人々の味わった生活をたいけんする
には、そういう行事に積極的に参加する
べきだと思いました。ふり返えてみれば、ぼく
の生活は毎日が楽しく楽に食事などしている。
当時の子供は戦争に参戦している。原子爆弾がど
んなに凄いい力を持っていても爆弾を決し
て使わないようにする、核を使わないよう
にする。昔の人たちは今の人たちと違う心
の中から語っていると思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/10

私は、今日の「原爆先生の特別授業」を受け、しゅげきを
受けました。昭和時代は、歴史の中で、好きな時代で
あり、知らなくともいいこと知らずにはおぼえていまし
た。ただ、原爆のことは、調べても、投下されたあとの
ことしかでてこず、投下されたしんがんのことは
出てきませんでした。だから、原爆が投下されたしんが
んのしゅげきしゅげんをまき、人を、一しんごころして
しまう原爆のいかに、それを発明した当時のアメリ
カの技術の高さにしゅげきをうけました。また、原
爆により広島、長崎を一しんにして地獄に変わっても、
戦後70年をけいけいし、あとかたもなく現代の町になったこ
とにもしゅげきをうけました。義三さんが、原爆しゅげん
を語ったときに、「きれすぎる」と言いました。現在の人にも、
未来の人々にも、ちいさんと原爆の恐しさを伝えるためには、
義三さんが「きれすぎる。」と言えないう、被爆した方の
人形を資料館におくべきだとも思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私が原爆先生の話で強く感じたのは、人々の苦しきです。ものを使いごくいつうの町を全くちがうような場所にされて、多くの人がせくなり、体中にさずをおうすがたも想像するだけで私も少し苦しくなりました。戦争はどんなときに来るかわからなけれどそれに備えて訓練を行っている大切さをすごく感じました。自分が今の時代につらいと思うことなんて全くこのころの人々には同じないと思いました。死者は考えられないほどいます。でもそのやられた直後の体でも、生きようと「助けて」と救いを求めていることにとてもすごいと思いました。また、兵たいの人も自分のこともあつのに助けようとしているのが私にはそんなことできないなと思いました。今、戦争なく平和に暮らせていることにとても感謝しています。この命をこれから先、ずと大切にしようと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原子爆弾投下について原爆先生の授業を受講するまであまり深く考えたことがありませんでした。しかし今日原爆先生の授業を受講し、原子爆弾の投下への考えを深めました。

ぼくが授業でもっとも思ったことが大きく分けて二つあり、まず一つ目はあまりにもこの原爆投下は人間一人一人の大変な命を重刻にも軽視していることです。

人間には色々な人々がいてもかならずみんな、平等な命をもっています。それを考えずに原爆を投下したという事はとても許しがたいことでしょう。

このような事態が二度と起こらないようにと思いました。

二つ目は原爆をつくらせたあやまちです。原爆はたしかにまろしい兵器ですがこれだけの力があればもっと人間に笑顔をもたらす、もっと他の道具などがつくれたと思います。

なのに人間に悪事をもちらすおそろしい兵器にしてしまったことがとても重い重い、つみだとぼくは思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して、当時の悲劇や、被爆者や、死人の痛みや、それを見ていた被爆者である兵隊のつらさが胸にじんとしてきました。

また、今まではお母さんから原爆のつらさを聞きましたがいまいち分かりませんでした。しかし、今日の特別授業を受講して原爆の怖さが本当に分かって、少し怖くなりました。

いつか広島市の原爆ドームへ行くと、被爆者の人形を見て、その人形よりもっと被爆者がいびく傷ついて、地ごくのような爆心地にいたことを、どんなことがあっても、忘れないようにしていきたいと思いました。それと、今もその原爆が、世界中に、何万発もあるということを知ったときも、すごく悲しく、残念に思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、この特別授業を通じて、とても多くの人がつらい思いをしてきたことを心の底まで感じました。

また、広島だけでなく、他の地域でも大きな被害がみられ、平野があること、直径5kmを超える、今までの空襲がなかったことの3つの原子爆弾投下の条件も知れてよかったですと思います。また私は、原爆ドームにも行ったことがなく、あまり詳しく原爆のことは知らなかったもので、一度行ってみたいと思いました。

そして、被害にあった人々は、ただ「焼け」と「焼け」がほかほかあちまいたけでなく、もとむかい目にあつたことを知りました。

原子爆弾の落ち方にも、理由があり、また、空気がぼう張ることでも外に出ていくことを学びました。

死亡した人の2万人が一瞬間にして亡くなった、また5人に2人が亡くなってしまったということにとってもみまじりました。

私はこの授業で原爆のことをとても詳しく知ることができよかったですと思います。今後で役に立つこともあると思います。学習にも取り入れられることがたくさんあると思います。とてもいい経験でした。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今回、原爆先生の授業を受けて池田義三さんの日記にしようけ"きを受けた。私の場合、気味、悪、曇色や加だここの屋"にありをかくとすぐに気持ち悪くなってばく寸前になる。しかし池田さんはそのことにたえながら九日間も死体を燃やし続けた。人間、死体を見るだけでもこわ"のに、熱でやけて人間「みた"な、人間になつた死体はもっと恐ろしいだろう。そしてそんな風景は今、原爆ドームにおすめられて"るがその皮ふがただ"水た人形を見て池田さんはこんなものではないと"いたそうだ。私自身は原爆ドームに入ったことはな"がその人形を見ても想像をせ"するものだった。しかし、それよりももっとよ"んな光景など私には想像もできない。だがこの事実からたくさんの方が亡くなつて、たくさんの方が悲しんでたくさんの方が苦しんだ"と"うことがわかった。私はこの事実からこの悲しい事実を忘れてはならないと思つた。つら"ものでもその過去があるから今、私たちがあつたのでこの貴重な話を心の中にす"としまひこれから、世界に活かしたい"と思つた



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は、「はだしの死」というマスコットで原爆の事は
知っていたので、だいたい分かっていました。

しかし、原爆先生(池田義徳)の父、池田義三
の語り、池田義三の8月10日、11日、12日、13日、14日、15日までの日記
(実話)を聞き、痛感しました。

原爆(原子爆弾)の落とされた候補に在
た都市(広島、小倉、長崎、横浜、新潟、京
都)は知っていました。原爆がどういふ層に落
とされ、爆破した時の、熱線の温度、音速、衝
撃波の速さ、また原爆の原料、仕組みは、この
話を聞いて始めて知りました。この中で特におどろ
きがあったのは、原爆が爆破した時の表面温度
が太陽の6000℃より高い7000℃であった事です。

最後に見たビデオ(池田義三)の映像に
僕は、心を打たれました。特に、心を打たれ
た所は、池田義三さんが泣いていた所
でした。そのことから、昔はもっと悲惨だった
という事が伝わってきました。また
僕は、原爆についてまだまだ「知らないこと」がたくさん



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は、原爆先生の授業を受けて
原爆の悲惨さを改めて知ることがで
きた。原爆は僕が最初思っていたよりも
はるかに残酷であること。そして、たったゴルフ
ボールぐらいの小さな物が多く人命をう
ばったことなど。

このような悲劇を生み出す原爆を再び
投下した人類は反省すべきだと思ふ。なぜなら、
人類の欲望のせいで戦争がはじまり、
そしてそれに勝つために、原爆をつくり投下
したからだ。

しかし、原爆が投下され、大変な状況下
でも思いやりの精神があることがうれし
かった。なぜそう思ったかというと原爆先生が「はな
した話のなかで、十七八才の女の子の包帯を變
え運んだ」という所がそう感じた。

このように今回の授業は、深く考えられる
授業であり、おもしろかった。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、今日の原爆先生の話をきいて思った
ことは、広島に原爆がおちて大きな火の
に当たった人がたくさんいたということ
が、ぼくは、くわいするほど大きな火の話をきいて
きいてまた、思われました。
広島のけんぼくは歴史でも学んでいますが今日は、
はその広島のけんぼくのことをくわい教えることも
でき、こう思っています。
けんぼくとは、どくろのくわい強かなのか、でのくわい
大きいのかまた人をだいたいのくわいころせ
るのかということがよく分かりました。
またこの話をきいて一番心で思ったことは
やっぱりせんそうはや。ては、川けな人だとな
ということも思いました。なぜなら人の「命」
をうばうからです。
この話をきいて、このことを親や友だち
などに話したいと思いました。
原爆の話を90分間教えることができ
て、とてもありがたかったです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生が授業をしてくれて大切なことを学びました。

原爆先生のお父さんがけいけんしたとても悲しい出来事はとても心に残りました。ぼくは、そんなけいけんはないけど、原爆先生のもとても上手な話をたてとても悲しくてつらいんだなと思いました。原子爆弾のいりよくはとてもすごくはげしくてこおくなりました。原爆先生のおかげでぼくは、あまりしらなかつた、原爆の事を、たくさん教えてくれてありがとうございます。ございました。

これからも、今日、授業で教えてくれた事、話してくれた事、いろいろ学んだ事を、おすれせん。

これからもがんばってください。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/10

私は、原爆のことを塾などでさうとしか聞いたことがなく、ほとんど何も知らない状態でした。

しかし、細かくわかりやすかった。このまで悲惨なものだったのかと思いきらされました。動画や画像を用いて授業をしてくださったので、本当にわかりやすかったです。

最後の方に原爆の時の遺品やその時の人々の様子が再現された博物館の話で、池田義三さんが「きれいだった。ただその一言をあの時聞いた」というところで、私は「この人形も十分大変な状態なのに…」と思いました。だから、これ以上となると私は見るこののできないくらい大変だったのだと改めて思いました。ぜひ、私も原爆ドームや博物館(?)に行ってみたいと思いました。本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は、原爆先生の特別授業を受講して、原子爆弾とは、と
ともかく、この世には、あ、これは
いけない物だと言うために実感
しました。しかも、この授業は
とてもわかりやすく、その時、その
場所がなにがおこったかが分か
ります。

広島に原爆が、落ちたと
きに使われた原子爆弾の燃料
は、ウランはた、た 1kg でした。
これが、60kg だ、たら、広島
以外にも大々な被害が、おこ
た、これが今日の授業を
通して分かりました。

このように、土まざりな
ことがこの特別授業
で分かりました。すごく
勉強になりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生の授業を受けて、
あらためて、『原爆』の怖さを感じました。
やけどした人のたすけて、という声に、とても
胸が痛みました。

やけどした広島の写真が今も
頭に残っています。

今日の授業で、原爆の怖さ、
人々の痛み、すごく勉強に
なりました。

そして、原爆の被害が、どれだけ
大きいものなのか、

今日の授業は
私にとって、貴重な思い出になり、
大切なものになりました。

本当にありがとう

ございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私はあまり、原爆原爆のことについて知りませんでした。
そして、原爆原爆の語になると被害を受けた方たちの気持ちに
しか考えたことがありませんでした。(けれどこの原爆
先生の特別授業を受けてみて、兵隊さんたちの気持ち
にも考えることができました。

私がこの特別授業を受けて、おどろいたことが
いくつかあります。

一つ目はアメリカが京都に原爆をおとしたかったのを広島
に変えようしていたことです。私は最初から広島におとす
つもりだったのかと思ひ込んでいたのでとてもびっくりしま
した。

二つ目は太陽よりも1000倍熱い(約6000℃)原爆
が真上からふっってくることです。しかも真上からくる
ため、かけがえがなくてなくかくれる場所がない
という赤色生命のピンチになっていたことです。

また、いつどこで投下されるかわからない
状態な人々の気持ちをあらためて感じることが
できて、(1)(1)(1)かけられたと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

『7000人の少年』を聞き「原爆は大変だったんだろうな」というところから「絶対に戦争になりたくない!」と思った。話を聞いていて、生かしの皮がはがれおちるといふ話でとても痛く、また被爆者のどんなに痛くても生きのびたいと思う気持ちがとても感動した。私は今幸せな人だなぁと感じられた。そして今まで被爆者はかわいそうと思っていたが、助けたくても助けられない兵の気持ちにも同情した。助けて、助けてと声をあげてる人を涙をながしてスルーすることしか出来ないなんて...。熱でいっしょんで亡くなった方ももちろんかわいそうだがそれ以上に、熱さに絶えきれず、はたかで川に投げこんだにもかわかず、他の人の熱も加わったふっつした川につきり、熱くて苦しいまま亡くなった方がとてもむねしいと思った。兵が助けた17.8才の少女の話が心に残った。ウミがでていて、ウミムシが出てくるふとももの包たいをとるとき、ひめいそ上げたいのにも関わらず、涙をながさずにおるためにがまんする強さがあることにびっくりした。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特別授業を受講して、たくさんのお話を学びました。

当時、広島にいた人たちはすごくこわがたと思います。

私たちが重さが4トンもある原子爆弾が落ちてきたら、こわくてにげることもできないと思います。

池田義三さんは、町中の人々が大やけどを患って、

苦しんでいる様子を見て、とてもつらかった。ただろうな

と感じました。私が池田さんだったら人が大やけど

をして、苦しんでいるところを見ても、と立っていること

しか何もやれないと思います。

太陽の外側の温度は6000℃でできているそうです。

対して、原子爆弾は7000℃でできています。

鉄がとけるのは1500℃。広島は町のほとんどがとけてし

まいました。私は今日の授業で原爆のおそろしさを

命の大切を知りました。学んだことを原爆を知らない

人に伝えていきたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾のおそろしさをあらためて理解をすること
 ができました。私も前に広島へ行くと原爆ドーム資料館などを
 見て、いさよと痛感したけれど、それとはぜんぜんちがう
 地獄さしのいほどのうらさみじめさ、こわさを丸田義三さん
 はみてきた人だと思いました。池田眞徳先生の語り
 かける内容もいさよとこわくて手のふるえかき割
 りました。さ、さまで生きていた人が原子爆弾投下
 の一瞬の間に命をうばわれてしまった。その事に
 深い悲しみを感します。今もなお苦しんでいる人
 もいるかもしれぬ。投下から約70年た、た今被爆者
 の人の声が少なくなっています。けれど絶対に
 原爆のことを忘れてはならない、あのいさよは
 おそろしい出来事をこの地球上でかこしてはならな
 いと思えます。今、広島に投下された1000発もの
 うちにある原子爆弾が16000発ほどつくられていると
 思いました。すべてをなくすることはできないけれど
 しかし、今、私たちにできるおそろしいこと、例えば原爆の
 おそろしさを語りつぐことなども精一杯や、していきたい
 ます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕はこの「原爆先生の特別授業」を受けて思った事があります。それは、原爆の威力を知りました。広島に投下された原爆「リトルボーイ」の中に入っていたウラン60kgの内1kgしか爆発していながら、のに被爆者と死者計了が万人です。そのための原爆の恐ろしさを知ることができました。

また原爆の中心部は100万度で太陽が6000度だから原爆の威力が分りまはせして、原爆の候補であった京都には、歴史が承れるあり寺戸神社があるため原爆を落とさなかつたとしていて戦争にも相手を思い下る心があるで分りました。

原爆は人々の人生を狂わせるものだと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ばくは原爆先生の授業を受けて、戦争、この授業で言うと原子火暴弾はさんくだまと思いました。エラ・ゲイで広島(長崎)に投下された原火暴のリトルボーイ。広島県産業奨励館(原爆ドーム)を衝撃波によってこわされました。広島市の人口は35万人。そのうちの被火暴者は24万人にもおよぶ。戦争は悲惨と言うのを実感しました。世界が平和であり続ける事を世界中の人が願うといいと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11 / 10

私は前住するの「墓」を建ててあり戦争の残酷さを感じず、主人公に同情が溢れていましたが、原爆の威力を知り、戦争の時代に生れなくてよかったです。

ろうそくが1200℃ぐらいなので、原爆はたいして熱くないと思いましたが人間の皮膚が焼けただれ、手をつかないだけで肉が溶けてしまうほどの熱さ暑さで起るのにはびっくりしました。また広島で原爆投下し、多くの死者や被爆者が出るころからアメリカは予想でたけず、簡単に原爆を開発、試した都会へ投下を思いついでしまう戦争の怖さを感じました。

この話を聞いて、幸せでいかなう人がいたと矢張り時間を大切に使うと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受講して原爆の恐しさや悲惨さを知りました。

今まで「ただ広島に原爆が投下された。」ということしか知りませんでした。

今回の特別授業で、原爆ドームのことと原子爆弾投下都市の条件や候補になら都市のことで、原爆（リトルボーイ）のことでなごを新しくわかりました。

いろいろなことかえられてよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の特別授業を受講して原爆の怖さ、恐さを改めて知る事ができました。先生授業の中で特に心に残った所は、最後に池田義三さんが動画で話している内容、行動(言動)です。池田義三さんが泣いている所から、悲しみやつらさがとても伝わりました。また、原爆について破壊力や被害を知る事ができました。破壊力には、目を見開くようなくらい驚きです。あの、焼けた住宅街、村、町、あの殺風景な映像、けむりのような大きな物が空に向かって広がっている映像を見て分かりました。被害は、原爆先生(池田真徳さん)の話を聞き分かりました。話の中で時々言っていた言葉が皮膚がとけているという言葉です。この言葉、話の内容から被害の大きさが分かりました。

私は、このような事から兵士や被害者の気持ちや様子がよく分かりました。今後の未来にはこのような悲しい出来事が無い事を願いたいと心から強く思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆をうけた広島市のリアルな様子
が分かった。だから、その時の悲惨さが、少し
だけ分かった。でも、今日知った状態より、も
と激しかったんだよねと思った。

爆心地のまわりが太陽の表面温度であ
る 6000°C を上回る 7000°C と聞いてとても
おどろいた。また、ウランの1kgの大
きさか、ゴルフボールぐらいの大きさになるこ
とや、それぐらいの大きさで、広島市が、こ
のような状態に打ったことにもおどろ
いた。

「よかった」と言っではいけないと思うが、
池田義三さんや、仲間の方達が助かって
よかったと思う。

今の世界には、とても大量の原爆が
あると聞いて、怖くなった。今後、絶対
に原爆が日本だけじゃなくて、世界のどこか
におちてほしくないと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の特別授業を聞いて
思ったことが2つあります。

1つ目は爆心地が地上から600mで
7000℃であることです。スカイツリーと比
べている図を見て、意外と低いとこ
ろで爆発したんだなと思いました。そ
して7000℃というた、陽の表面温度よ
り高い温度で地上でも3000℃という高
熱だったといふことがびっくりしました。

2つ目は広島市人口が35万人に
対して死者数が14万人ですんだこ
とです。たしかに14万人とはけ、こんな
数ですけど、地上が3000℃ほどになったに
しては多くの方が助かったと思いました。

私はこの授業を聞いて、戦争はしても
こわくて、おそろしいものだともうためて
思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の授業を受けて今までには「あー原爆落とされたんだ」という風な事実としてしかうけとめてなく、少し「かわいそうだな」と思っていたぐらいでした。しかし、今回の授業を受けてみて原爆というものは本当に恐しいものだと思います。

また原爆の「リトルボーイ」は7000℃だということを知ってとてもおどろきました。太陽が6000℃なのになおそれよりも熱いということにびっくりしました。また6000℃の「リトルボーイ」が600mぐらいまで来たということもおどろき、その熱い温度で体の水が蒸発してしまうということにもとてもおどろきました。さらに死亡率が40%だということにもおどろきました。このように具体的な数字がでたり当時の映像がでたことにより原爆が身近かに感じられました。

原爆ドームへ行っても、とくちしくみとみたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私が 今回の特別授業を受講して
驚いたことが2つあります。

1つ目は、原子爆弾の候補が横浜
や、新潟、京都にもあったことです。その中
でも特に京都がおさめられていたそうです。
それは京都が四方を山に囲まれているため、
破片したときの結果が良くなるという
理由でした。しかし、京都は人間にとって
重要な文化財がたくさんあるので、原子爆
弾は落とされなかったそうです。

2つ目は、原子爆弾の表面温度が
太陽の表面温度の6000℃よりも高い
7000℃だということに驚きました。被爆
者はこの「熱い」をこえている常況に会
ったことがとても残念だと思いました。

最後に私はこの特別授業を通して、原子
爆弾というものが、どんなに恐ろし
いものなのかが実感することができ、とて
も良い体験ができました。



じゅこ
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはこの授業の前から歴史のマンガを読んでいた
ので、1945年8月6日と8月9日に広島と長崎に原爆が落
とされたことは知っていましたが、原爆によってつまなび力か
あることはあまり知りませんでした。

今日、ぼくが知ったことの1つ目は原爆の燃焼半減期は
ウラン235のもので、コバルト59ほどほどの大きさのウランが広
島で爆発したという事です。

2つ目は原爆が爆発した時の中心温度は100万℃で、
600m下の土の上は3000℃という高温になり、衝撃波は
毎秒440mであるという事です。

3つ目は原爆によって死亡する確率が40%であるとい
う事です。

ぼくはこの授業を受けて初めて戦争はよくないと思いま
した。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは今日、映像と画像と文章を見て聞いて、原爆がものすごくおそろしいことがわかりました。ぼくは、この特別授業でいちばん印象に残ったのは、リトルポーンによる広島の被害です。リトルポーンとは、横の長さ3.12m、重さ約4t、爆発は11kg、200m、熱さは、中心が100万℃、外面が7000℃です。外面の熱さは、7000℃は太陽の外面の熱さ6000℃を上まっています。これは太陽が上から降りてくるのと同じことです。本当に原爆がすごかったことがわかりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回は特別授業という貴重な体験ができてとても良かったと思います。

私は、原爆が広島と長崎に落とされたことでたくさんの人が亡くなり、町がこわれてしまったという表面的なことしか知りませんでした。でも、今回の

授業を受けて、被爆者の方々の恐怖や苦痛などが痛いほど分かりました。また、けがはしなくて済んだ

という義三さんたちのような人も、安心している間もなくけがをしていられる方が多くて、たくさんの方を運ぶという

とても大変な仕事を何度も何度もやるという話もすごく分かりました。また、原爆先生(河野さん)が紹介

していたある親子が、7000℃の熱線にあたって、そのうちに炭になってしまったという話は、はじめは信じられ

ませんでした。7000℃は表面温度が6000℃である太陽よりも1000℃も高いのです。とても心が痛まりました。

そして、人間の生き物は、けがをしていくということも覚えています。人の生き物は、辛いようなことを加えたいとは思いません。

思うので、原爆も落とされた、広島や長崎の人たちのつらさがすごく分かりました。私たちは生まれたときから戦争の被害

たので、今まで、戦争のつらさ、恐怖などは、あまり、
考えたことがなかったけど、今世の授業と通って、
泣きそうになるほど、被害者もたまたま被害者もが
よく分かった。たので、行ける機運があるから、

「原爆ドーム」の物語、そのために読むのも、



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日の話の中で一番心に残ったのは最後の義三さんの話です。ぼくは、実際広島に行ったことはありませんが、広島原爆について描かれたマンガ、「はたしのケン」を全巻読んだことがあります。マンガでは第1巻で原爆が落とされ、ケンの父、弟、姉が死に、その他広島の人々が被爆したときの様子がリアルに描かれています。正確に人々は手をななめ前方の方に垂らし、皮ふが落ち、筋肉が丸見えになっていました。ぼくはその時、マンガとして描かれた絵でさえも目をそらしてしまふような恐怖に襲われました。今日の話を聞いて、その時、その状態を実際に経験した人がいて、70年以上経った今もその当時を鮮明に記憶している人がいると、また、原爆によって命を落とした人もたくさんいることを改めて知り、目をそらしていけないうれけではないけれど、自分がやったことに対しての罪悪感を感じました。ぼくは、5・6年生の夏休みの自由研究も、太平洋戦争をテーマにしてやってきましたが、「原爆」について取り上げたことはありませんでした。たがらこそ、今日の話はとても新鮮に感じました。今日の話を心に留めて、広島に行ってみたりとも思いましたし、改めて戦争はいろいろなところ強く感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私はこの特別授業の内容の中で一番心にのこったことは被爆者の体験談です。それは会社が「開くのをまっていた男性が原爆によって黒いしみになってしまった」という話です。私はこの話を聞いて原爆はとてもおそろしく、一瞬で「人の命をうばってしまふこの世にあってはならないものだ」と思いました。

また広島市の中で5人に2人が原爆によってなくなったという話を聞いて私はとてもびっくりしました。

そして最後に今日たくさんのお話を聞いて思ったことはもう二度と原爆を使ってはならないということ、またこの先も、約70年前の事を忘れないで平和な世界を築いていきたいということです。とても貴重な機会を設けていただき本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

お話しを聞いて戦争でたくさんの方がなくな
ったと、してすごーい悲しかったです。
一番たくさん爆弾が^サ落ちたのは京都だった
ので京都に住んでいた人は、すごーい多くなくな
っていると思うので、すごーい悲しいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

私は原爆についていつ投下されたのか、など今まで聞いたことは知っていましたが詳しく知ることになったのは今回が初めてでした。原爆先生の父である義三さんの本の話を知った時は正直聞くだけで想像はできませんでした。しかし、一番今回の授業で心に残ったのは広島に原爆が投下された瞬間の映像と、義三さんのビデオでの映像でした。広島での原爆の瞬間はリトルボーイが落とされてから地に落ちるまでの時間が一番怖かったです。戦争中であっても戦争中のいつもと変わらなく人々が過ごしていた時に突然すぎると思いが自分が見るのがつらかったです。義三さんのビデオでは話しながら当時のことを思い出して、何度も声がつまり、涙を浮かべていた義三さんを見て私が今まで思っていたよりも恐ろしいほどの力が原爆にあることを実感しました。

日本は「非核三原則」を定めています。自分の国を強く見せることよりも、大切なことがあるのではないかと考えました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は、広島市全体を破滅させた
原子爆弾は、たった1kgのウラン
だということを知り、原爆先生の話し
を聞いて、初めて知りました。

今までは、東京大空襲のように、
焼夷弾をたくさん広島に投下した
のだと思っていました。そのため、
た、たった1kgのウランが、広島市を
がれきの地にしてしまい、たくさん
の人の命を殺してしまいました。ことに、
すごい恐怖を感じました。

また、原子爆弾が爆発したとき
太陽よりも高温のものが、地上
わずか600mにある状態だったと
初めて知りました。このとき
真下にいる人々の気持ちを考えると
とても熱く、一瞬で炭化してしま
うことが、すごくショックでした。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

私は、原子爆弾のことをあまり
知らなかったのですが今日分かった事が
たくさんありました。

私は、リトルボーイという原子
爆弾の名前が可愛いなと

思っていました。話を聞いて

こんなにおそろしいんだとか、くり
しめました。

印象に残った事は原子爆弾
を受けた人々の話です。皮膚が、ほが

れたり手から油のような液体が
流れたりそんな事はな、て人々を

かわいそうだ"と思いました。生き

残った人もそのような状態で生き

ているのも大変です。そして可憐いと

思います。

今日は原子爆弾がこんなには

ひどく悲惨なのに池田義三さん

は可憐いと書いてました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

この授業を受講して、ぼくが思ったことはいろいろあります。

1つ目は、原爆のいかに、数秒くらいの間で何倍にもした人の技術の進歩の早さです。広島、長崎に落とされたときも、かなりのいかりがあったのに、それを、行進にもできたのはすごいと思います。でも、そういう大量殺人兵器に、その技術をよこすのは、人の道はまがしいと思います。

2つ目は戦争の恐ろしさなどです。

恐ろしさは、生き物が大量に死ぬこと、自然が壊れてくることなど。だから、戦争は悪いと思います。しかし、戦争のおかげで、他の国との関係がよくなった、便利な物ができたりしました。だから、悪いことばかりではないと思います。

3つ目は、人のことなどです。

人の知能や、技術が上がったがために、判断能力が退化したことです。たまたま武器が進歩して、それにたよるようになってきた、と思います。だから、技術の進歩は、いいことばかりではないと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日 私は授業を受けて、バンの底から
怖いなと思いました。なにが怖かったという
わけどをした人をトラックにのせるとき
に 皮がむけ骨が見えてしまいく
いたかっているというところが ても怖か
ったです。でもそれを見れてたこともお
いななと思いました。やっぱり戦争
はなににも生まないなと思いました。戦争
は人を悲しませるだけだと思いました
なのでこれから戦争をおこな
いてほしいです。そしてこの世が平和
であってほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特別授業を受講して、戦争の悲惨さが改めて分かりました。

まず、投下した原爆のウラン1kgが燃えただけで、広島にすごい被害が出るという事です。

「人間の肌がただれおち、人間が人間の姿ではない。」こんな被害今では全く想像のつかない事です。そんな人達を助けようとした人もたくさんいたと思います。でも、みんな、どうする事もできず悔いを残したと思います。2度とこのような事が起こらないように全世界に呼びかける事が大事だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

15歳か、原爆先生の話を聞いて知
ったことはチベットの母さんがエノ
ラ・ゲイという名前をゆーじし
思ったことはゴルフボールぐらいの大き
さで広島をはかりする力があるのが
すごい怖いなと。

あとリトルボーイの中の100万円で
それを直接 あたった人は、ものす
ごく怖かったんだなと思いました。

それにその時の広島市人口が35万人
いたなかで、被爆者数が24万人で
死者数が14万人で、家族や友人はすごく
悲しい思いやつらい思い、またくるんしな
いかと怖がってる人がいたと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/10

私は原爆先生の特別授業を受けて
知ったことがあります。それは人間が人間では
なくなりそうになるぐらい、原子爆弾の力が
強いということです。しかし、私は最初に
原爆についてあまり興味かゆきません
でした。でも話を聞いてみると、興味か
ゆいてきて話をとても集中して聞くことが
できました。

また、話を聞いてみたくて思いました。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受けて
広島でおきた事が分かって、すごくよかったです。
原爆先生の話をきいて、広島がたいへんなこと
になっていて、すごくせくな^らた人達か^い、かわい^さに
思いました。

原爆がおちたせいで、多くの人^がなくな^って、
たてものもこわ^れて、生きてい^る人は、すごく
こわ^らた^から^い思^いま^した。

原爆先生のお父^{さん}の日記のせつめいの
ときは、すごくかな^しく思^いま^した。広島の人^達か^い
たす^けも^もとめ^てい^るのに、たす^けてあ^げら^れな^い。
一番、心^にのこ^りま^した。

けど、さいごに女の人^がたす^かた^のか、すごく
うれ^しい気持^ちにな^りま^した。

1人^の人^をたす^けた^たい^けで^いも、すごくい^いと思^い
ま^した。

私は、今日^の原爆先生のお話を
きいて、あと、広島のこと、原爆を
し^りた^いとおも^いま^した。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

11/10

私は原爆先生が来てくれてよか

たと思います。

なぜかという、昔の戦争のことこくわ

しくしれななし、

人間がどいだけ大切かと、

いうことがわかれたからです。

心に残った原爆先生の話は、

「手をもち、ひきあげようとした時、やけた

皮膚がスルとおちて、手と手がはなれて

しまったのです」というところです。

焼けこけた人もすごくつらいし、

手と手がはなれるところを見るのもとても

つらいと思います。

だから私は原爆先生がきてくれ

たおかげで、人の大切さというものがし

れました。

これから、家族や友達を大切にし

たいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

11/9

私は、原爆先生の授業を聞いて、改めて、原爆の悲惨に気づかされました。なぜ、広島や長崎に投下されたのか、疑問に思っていました。そして、この授業を聞いて、投下の条件を知りました。条件に合う都市は、どこも、空襲がなく平和な場所が、選ばれていたと思いました。

原爆1つのせいで、数えきれないほど多くの人々の尊い命がうばわれてしまったのです。

原爆は、平和を一しゅんであとかたもなくこわすものだと思いました。被爆者の方の池田義三さんの経験したこと、今生きている被爆者の方の記憶は、私達が想像しているものよりも、はるかに、悲惨なものだと感じました。特別授業を通して、原爆先生から学んだことを、いろんな人にも、伝えたいと思いました。そして、1人1人が、この事を、大切に受けとめてほしいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

前に広島に行き、原爆ドームをみにいきましたが、人形(原爆をおとされぬがいをかけた方)をみたときは、背が鳥はだかたちました。でも現実ほもっとひどいことを知り、あらためて、原爆は人の命を、人の人生をい、しゅんにしてうばいさってしまふことにきょうみを感じました。

また、お話だけでなく、映像などもみせていただき映像を見ている時は、口を空けて、目を開いて、おどろきおどろかしくせませんでした。

お父さまが、けいけんされているため、よりくわしく今まで不思議に思っていたことも分かってとても良かったです。今はまだ、けいけん(戦争)をしている人がいますが、いつかは消けてしまひます。でも戦争のにわさをわすれないうちに、自分たちがこんどは、一言も言う番だと思ひました。

原爆は、あんな小さな物から、人の命をうばってしまふことは、世の中で一番こわく、おそろしいものだと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受けて原爆の事が良くわかりました。今まであまり原爆と聞いたことはあ、たけとくわしくはわからなかつたので今日原爆の事について話してくれておとろく事がたくさんありました。衝撃波が音速よりも速いという事です。こんな速さだから家などがこわれてしまったなと思いました。

原爆先生も話しても特に心にのこったのは原爆先生のお父さんの話です。

義三さんはトラックにのりて原爆のひかきを受け、トラックに走りいてき、手を出して手のひかかむけてしまったところはずごくかわいそうだと思いました。

また原爆先生の話を聞いてみたいです



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の話を聞いて広島や長崎が原子爆弾によってどのような姿になったのかをくわしく知ることができました。もともと、広島などに爆弾がおきたことをあまり知りませんでした。知っていたのは、かなりの方が死んでしまったことだけでした。ですが、今日、原子爆弾のこわさを知ることができました。爆弾は、太陽と同じくらい熱くなることや、近くにいた人は炭のかたまりみたいになって、すぐにこげこげになってしまうこと。今の私には考えられないことですが、そのときの風景が想像できます。うでをっかんだけ皮がはがれてしまったり、傷口にうい虫が入ったり、考えるだけでこわいし、かわいそうです。でもその場にいた人は生きること必至だということが分かります。コンクリートのほり、穴？に水が入っているにもかかわらず、入って、熱い！ 生きた！ というのがよく伝わりました。原爆のことがとても勉強できました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕はなんだか原爆の話を知っていますか
なにか聞いても原爆はとてむづかしいと思います。
僕は原爆先生の話を聞いてこれからは原爆
や戦争などが無い世の中になればいいと僕は
思いました。

原爆の再現映像を見て僕はぞっとしました。
すわっていた人が黒い灰になっていっしょにふたつ
き入ってしまった時は特にぞっとしました。
そして一番こわがたりきつかったのは人の皮が
べろんべろんになっていた話はフリーズをおもったほど
いやな感じがするにわかつたです。またその人たちのことを思う
とこつらさという感じがわかりました。

僕は原爆先生の話を聞いて最初に思ったように
原爆は戦争が無い世の中になればいいなと
おと思いました。

最後に僕たちのためにわざと話をしてくれたことに
ありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/10

ぼくは原爆先生の特別授業を受講して思ったことは、戦争は本当にやってはいけないという事です。なぜなら戦争はたくさんの方の「命」をうばうからです。ぼくは、広島に行ったことがあります。その時、原爆資料館と原爆資料館に行きました。ぼくは、たった70年前にこんなことがおきていたなんて想像もつきませんでした。原爆資料館では、何も言えず手と足がふるふるほどこわかったです。だから、戦争は二度とどんなことがあってもやってはいけないと思います。二十年後、三十年後には、もう原爆体験の人が数人しかいなくなってしまうと思います。だから、今日原爆先生にならったことなどを戦争を知らない人に伝えていきたいです。

原爆体験を90分間も教えてくれてありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生である池田真徳先生
の、実の父親、池田義三さんは、17
歳という若さで、兵隊になった。そし
て、昭和20年8月6日に広島を訪ず
れる。そして、そこから9日間、広島で、
活動をする。このことは日記にかかめ
ていて、それを原爆先生が読んだ。
ふつうに話を聞いていたけれど、
も、原爆のおそろしさが伝わってくる。
この原爆先生の話を聞いていて、
ずっと思っていた。こんな悲惨で、
残酷な戦争も、もう二度として
はいけないのだ。これは
今日の原爆先生の話を聞いた
僕らのもっとも、先の世代ま
で、忘れるもいけないことだと思
う。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

「ぼくは、原爆先生の授業を受講して、
原爆の時のことがとても悲しく、そして
今の時代に生まれてよかったと思います。
そして、その時代の人々は、苦しく、つらく、悲しか
ったのだなと感じました。実際にいな
くとも、つながりを持ってなくとも、とても
つらく思います。まだ幺かい子も、女性も
男性も、老人も、たくさんの方が去ってしま
たということを思うととても心が痛みます。
命を落としていない人も、すごく苦しんだと思
います。そして兵隊さんたちも、つらくたと思います。
なぜ、戦争をするのか、それは人間の欲のため。
ならなぜ人間は欲するのだろうか...。
わからないことはたくさんありますが、せめて、原
爆の時のようなことがおきたために、少しでもできる
努力したいです。そして最後に、原爆先生
の授業はとてもわかりやすく、その時の様
子が伝わってきました。授業していたとき
本当にありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の父の義三さんの父が体験したことが何よりも自分の心をうごかしました。全身やけどをした人、ひかかなく肉と骨だけの人。考えたただけです。とします。ほくたたらもうたおゆてしまいます。あまりのグロテスクさ、そして恐怖にとってもかたないません。それでもかまなくて、肉と油と骨だけの人びとをおがって具かけた勇気に自分がとてもちっほくに見えました。核兵器のおそろしさを軽くみていた自分がとてもなげなからた。もちろん核兵器はなくなつた方がいりですが、日本はアメリカの核兵器により守られてはいます。政治家たちにはかたしてほいで。そして、自分も政治家たちにかせきりにおび。今自分にできること、核兵器のおそろしさを伝えることはできます。これからかたはります。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、被爆者の気持ちとかを理解するには、原爆ゲームへ行くと、無事だった人とかに聞くとか分かりやすかった。広島の人々は、皮膚が剥けて体のあぶらとかが出たり、うみかたまた所にうい虫がいたりしてもぐらと我まんしているのだと平成に生まれ、戦争をしているという厳しい環境をおぼろげにぼくは思った。播心が傷んだ場面は、爆発の直前の映像で、つりさきまで元気に生きていた広島の人々が、一しゅんといふくたさるところです。兵隊たちは、おぼろげに遺体を軍隊の命令ということで一生懸命我を忘れて仕事をしているというところも感動しました。

昔の人はいろいろな苦痛をのりこえて生きていたので、ぼくも苦しいときを我まんしてやってみようと思う。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の原爆先生の授業をうけて今から70年ほど
 の戦争はすごいからだがかともうためて
 思いました。でも心からすごくいやな気持ちで
 この戦争のことでこんなに多くお話を聞いたの
 ははじめてなので、すごく分からないこと
 がたくさんありたいと思いました。
 広島におとされた原爆は7000人もあつた
 人と思いませんでした。
 たいはうよりあつた人としてそうどうもつま
 ませんでした。このつらい人は、けがし
 ている人を助けてあげたいとあてをしてすご
 くいっぱいお話を聞きました。
 ほかはこのつらい人を助けてあげたい
 と思ったいろいろな人を助けてあげたいと思つた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/10

僕は、原爆先生の特別授業を受講して、
強く心に思ったことは、原子力爆弾というものは、怖いものだと打ちつけられました。今回、特別授業で話題としていた広島^の原爆の他にも、長崎^の原爆の方でも同じような状況だったと思います。広島にはなたれた原爆のウランの内の六割の1kgだけで広島を焼き殺すほどの威力があったら、その六割の1kgが加わるともう考えられません。しかし、恐ろしさはものすごくあります。さらに、今の技術ではこの原爆よりもものすごい威力を持つものが世界十万余発以上もあります。そう思うと、人類の技術の発達というものは、ものすごく恐ろしいことにつながります。今回の特別授業を通して、これからの未来に、このような原爆のようなことはあってはいけな
いということが分かりました。また、人は、人のことをわ
れているということも強く思いました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

私はまず「7000℃の少年」という意味が分かりませんでした。しかし、原爆先生の授業により理解しました。きくと原子爆弾の名前が「リトルボーイ」つまり「少年」であり、表面温度が「7000℃だ」ということを表したのだと思います。この題名は奥深いなと感じました。

かつしが今日の話でとても印象的であったことは2つあります。

1つ目は、被害者のい体を集めるときの話です。皮膚が焼けたり溶けたり、たれさがり、赤い肉や白い骨とてうがわいていっているい体の様子を想像すると、あまりの生々しさ、に鳥肌がたつまた、ゾッとしました。

2つ目は、池田義三さんが港から爆心地に向けて移動して話です。人の容ぼうや建物などの周りの様子がどんどん変わっていくこと、また、人間の容ぼうを言い表したときの「人間のうな」という表現がとても恐ろしかったです。

他にも様々なことを詳しいところまで知ることができ、よかった。私もこのことを忘れず、次の世代に伝えていきたいです。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆と聞いた分、少しのやけどをおった人を想像
していました。しかし、話を聞いてみると、やけどではす
ないほど悲しい事になっていました。たてもののおかげにいても、
真上からの光(ぬつ)によってたすかからなかった人もいたし、
家もボロボロになっていたりして見ているだけでもこわ
かったです。こう思い、今までの生活をふり返ると、と
ても平和だなと感じました。資料の中にも書いていた、
死亡率40%。=5人に2人が亡くなるという事にとくに目を
うたかいました。広島の人口は約35万人いるのに、死
者数が14万人という数です。たったの1日や2日でこ
れだけ多くの死者が出た事は、大変な事だと強く感じま
した。これから、いろいろな問題が日本中であると思
います。しかし、そのことを戦争にせず、解決する
という事がとても大事な事だと思っただし、死者を出さ
ないためにも、外国との関わりを大切にしていこうと思
うとも思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

はくは今まで広島と長崎に投下された原爆についてかかろうなどと思ったもの70年くらい前のことでしかも自分と関係がほとんどなかった県に投下されたのであまりおろそしいものには思わなかった。しかし原爆先生の話を聞いてみると、やけどの痛みや皮ふがはがれたときの感覚が伝わってきました。そこで初めて原爆のおそろしさがわかりました。はくが兵隊だったとき持ち悪くて負傷者だと目撃したかと思いましたが、池田義三さん（お母があげたことか）は「さしい」と思いました話の途中で見た動画でははくの目はスクリーンくぼつげにまじりました。最後に見た動画では義三さんが話している時に涙を流しながら話を聞いて負傷している義三さんを見てとがまが泣いたのかなと思いをよみました。今日の原爆の話は心を育てることも平和について学べたので受講して良かったと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

文化を考えたアメリカが京都を攻撃した
か、たことが意外で、いしそのかわりに長崎
と広島に、原爆をおして、熱やウランを
火薬をつかさねての戦争に勝ちたいという欲望
があまりすぎたと思う。

死人だんもカリコにつけて、火薬をはり、また
いしをかててとて、現代の日本ではあり
てないようなことがそれほどはなれて、いい
70年前にそれがあて、ていて、おそろしく、そして
未来にそのようなゆりしがたい行為が全体にあ
てはならないと、感じ、その水素爆などの行為をさせ
ないためには、未来の大人つまり自分たち子供に死
の原爆入の恐怖を伝えて、必要があると思、た。

今でも、世界には、いろいろな内争や核をも
ている国はあるけれど、それぞれを、各国が責任
をもて、行使しないように、管理し、非核三原則
を守、て、必要がある。そのためには、未来を考
え、攻撃より、安全性を行使しなければ、世界が
赤い空に成ると感じた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の特別授業を受けて
みて、まずはじめに感じたのは、ウラン1kg
で広島市に在んでいる35万人のうち、ひばく
した人は24万人、その中で死んだ人は14万人もいて、す
ごくおどろくとともに、原爆のこおさです。

もしリトルボイに入っていた60kgのウランが
全て火然焼してしまつたら、どのくらい被害
が出るのたろうと思うとあらためて原子爆たん
のおそろしさをあらためて感じるとともに、原子
爆たんをこれからも使おないにと、原爆ドームなど
の貴重な遺跡を残していこうと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、7000人の少年を聞いて、人々がどんなに苦しんだのかを、原爆先生のお話を聞いて、悲しく、おどろき、最後のビデオでは何十年前のことでも、あのこおは、おそれない。と言うような気持ちで伝わりました。震ふが、やぶれる、全身をやけどしたなど、教えるだけでそれとするような大けがを負い、軍にたすけを求める人たちは、何もおるくしないのに、戦争のおかげでこんなにはたけんのんをますつけたのでお5人に2人が亡くなる。なんておそろしいことでしょうか。また、原爆が太陽より熱い物とは思いませんでした。川が「うっとうするほど」熱いのだが、人も水分を失い、死に至るのは、どのほどの苦しみが伝わりかよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ほくは、原爆先生の話を聞き、強く思ったことは、「約4tのリトルボーイ」を広島に落とせ、その後すぐに人々がやけてしまったことです。なぜなら、海、川の水まで蒸発してしまうような、あつせで人々が必死に生きのびようとする思いが感じられたからです。さらに、その後の温度は、地上からたった600(m)しかはなれていない空まで太陽が近づいてきたようなあつせだったことです。しかし、原爆先生の父は、そのあつせにたえて、人々を助け、炎にかこまれた女性を、ていねいにてあてしていったことが、すごいなと思いました。さらに原爆先生の話を聞いていると、水蒸気などが上にいき、横にまで広がるきのこ型の原爆雲を実際に写真で見ると、かなり大きかったの、かなりあつかったのだなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/10

ぼくは、原爆先生の授業でおどろいたことがたくさんありました。まづ広島と長崎は、原爆が落とされたことは知っていたけど、たくさん候補(最初)があったことにまずおどろき、その中で一番強くやらえたのが京都であつたことにもすごくビックリしました。また、日本人の感情、都が人間の宝だところりよしたことは一番おどろかさえました。ただ一気になつたのはなせ原子爆弾の名が「リトルボーイ」なのがあつた。

前半の45分では、「皮がむける」とか「ウグムとかがたくさん」というところで、ぼくは改めて「バクソクする」ことを教えられました。そして、現在の原爆(原子爆弾)ドムで、先生のお父さんが展示品を見て、「えいすきる」と言っていたと聞いて、「運見先生でビックリするのは…：実体だと想像を超えるだろう」と考えが出て来ました。

最後に、とてもビックリしたのは、原爆の性質でした。衝撃波と放射線は理解できたけど、熱があつて、それも太陽の表面温度のはるか上の熱さと矢張りおどろきました。このように、おどろきの連続する授業でした。



原爆先生の特別授業を受講して

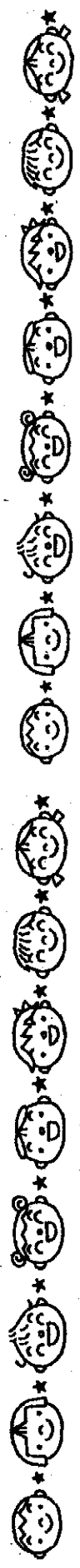
表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、今回の特別授業を受け、原爆というものの威力、破かい規模の大きさを改めて感じました。原爆の熱線、衝撃波などで人をたやすく殺せる。7000トンのウランkgで何万人もの人を殺せる。人が作った化学技術でこうも人をたやすく殺せるのかとおどろき、悲しくなりました。しかも、義三さんが体験したネ皮爆者を求めないもどかさは、皮膚のかんじ、死傷などもすべて原爆が作ったものだと思ひ、原爆はあてはまらないものだと感じました。

7000トンの少年については、リトルホーイが爆発した時の表面温度が7000℃ということだと思ひます。表面温度が7000℃の物たいが地上600m付近にあるということは、広島市の人はいっしょんで焼死してしまふたということだと思ひます。

授業の最後に広島市を義三さんと原爆先生が訪問し、原爆資料館を見たという話がありました。ぼくも原爆資料館に行つたことがあるので、ネ皮爆者を表現したイキを見て、ぼくは思ひが目



をこわけてしまいました。しかし義三さんは人形にフいでまきれいすまじりと言
ました。この言葉は被災者をこの場で見た人か言えない言葉だと思いは
戸原爆が落ちて今年で71年。原爆の悲小参さを伝えらるる人がおいて
す。おめで、この原爆の授業を受け、実体験の人にはおとるが原爆の
おそろさを感い貴重な体験だ。と思います。原爆先生もいていた
世界には広島で落とされた原爆より強い原爆を一部国が持っている
という言葉を受け、ぼくは原爆のおそろさを忘れずにいたいと思
っています。原爆が苦痛の生み出さなことを忘れずにいたい
思います。



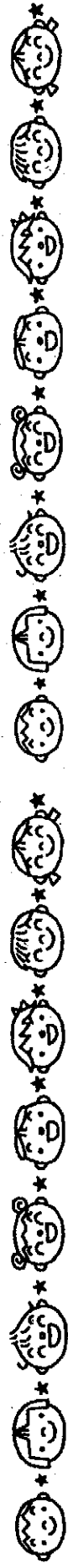


名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は原爆先生の話を聞いて、被爆者の苦しい気持ちと今の自分の生活の喜びを強く感じました。広島^の被爆者は晴天で、戦時中なかがもいつもの朝を過ごしていたのに、急に8時15分に落ちた原子爆弾で、日常生活をうばわれてしまった事を思うと、胸が苦しくなります。被爆者は、死んでいても生きていてもどちがにしろ、原子爆弾が落ちなかった時の生活とは比べ物にならな^いほどの地獄だと私は思いました。死んだが、もしかしたら過ごせたかもしれな^い平和な日常は、絶対に送ることはできな^いし、生きていても、爆弾で負った痛みをすややけとなくか体中にありたくな^い人達より苦しく、辛かったのではないかと思います。けがの傷口は、直視できな^いほどの残酷なものであったり、少し動いただけで激痛が体をおそったりして居たのではないかと話をきいて私はそう思いました。生きていることもやっとだ^いという被爆者が私たちが自殺していたと思^います。しかし、痛みをたえて兵隊に助けを求めて、決して涙を流さな



かた人は、すばらしいと思いました。

た、私は、残酷な心か苦くなるような被爆者達の様子話をして、今、好きに物を食べたり飲んだりして自由に楽しく生きていく自分の生活かして、幸せな事だと思われなくなりました。もし、機会があれば、原爆ドームを見に行

きたいと心から思いました。





原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

最初は「7000°Cの少年」という題名どころか原子爆弾と聞いても、イメージが漠然としていた。だが、実際に17歳で、期間が短いながらも被害された池田義三さんの息子池田真徳さんの話を聞いて、一瞬のうちに消えてしまった人、後遺症に苦しむ人がいることに、悲しいとも怖いともいえない感じがこみよびてきた。多数の条件をいすれも兼ねていて、多くの人口を抱えていた広島市が47kgもある原子爆弾一発の、たった1kgのゴルフボールぐらいの大きさで、火然焼しただけで一瞬で地獄と化した光景が脳裏に浮かんで来た。600mという近い空に太陽より温度の高い7000°Cというエネルギーを作り出す熱線、爆発や地面からはお返りで音速より速い秒速440mもある衝撃波。そして、今でも多くの人を後遺症で苦しませる放射線。それにより、多くの命が奪われ、野がなくなるのが大変遺憾なことだ。1945年より進んだ技術を持つ今、世界



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

中に1万6000発ある核兵器が使用されていることが残酷なことだと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

① 名前は裏面に記入してください

私は、戦争、原爆ゲームについてとても興味
があったので、今回の原爆先生の特別授業を前か
ら楽しみに待っていました。私はひいおばあちゃん
が3人います。1人はなかなか会えないのですが、2人
のおばあちゃんには3か月に1度くらい会っています。
しかし、ひいおばあちゃんは戦争の話をしたがらな
いので実際に聞いたのは今日が初めてでした。
私のひいおばあちゃんは中国に暮かっていたそう
です。ニュースで原爆の話が流れると、私も心が
痛みます。しかし、今日授業を受講して、原爆
ゲームをこの目で見たりと強く思うようになりました。
14万人もの人が亡くなると聞かても私は、
どのくらいの数なのかは、きりしませんが、大勢の
人が亡くなったという事は分かりました。実験の
ために広島に投下されたとは思えません。
太陽よりも熱いものが頭の上にあつたと思
うと私はとてもこわくてたまらなくなります。
生きようとあげずに歩く人を想像すると、かわい
そう、助けてあげたいと思ってしまう。

②



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生の話、ビデオレターを聞いてみると
私も泣きそうになりました。なんの罪もない人が
焼けこぼされてしまうなんておかしいと思います。
今年、アメリカのオバマ大統領が広島を訪問しま
した。スピーチを聞いて私は泣いてしまいました。
そのときの広島で生活を送っていた人を想像する
と、とてもわけてたまらなくなりました。
しかし、この授業を受講して、前向きに生きようと
改めて思えるようになりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の特別授業を受講して、とても悲しくなったり、おねが痛んだりしました。それに、とてもこわくなりました。と中、何度もなきそうになったこともあり、また候補になった都市が全部、天気が悪かたらなと思ひました。鉄がとける温度よりも高いと聞いて、とてもあつかたのだらう。いや、あついなんでものじゃなと思ひとてもこわくなつたし、原爆のせいでもなくなった人のことを思うとおねが痛みます。爆心地から150mのかんじょうな建物の地下のトイしらいて助かた人は、きせきだなと思ひました。ウランが1Kgがねんしょうされただけでも、大変な被害だつたのに、もし、60Kgがねんしょうされていたらどなに被害がおよんだかと考えるととてもこわくなりました。今日の授業で、広島や長崎でのことが、どんなにこわいことか、どんなに悲しいことが分かりました。このことを忘れないうよう過してりきたりと思ひます。